

第1章 コミュニティ 第5節 国際社会

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト	活動実績(H29)	成果指標	総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、一定の成果が挙げられていると考えている。引き続き目標が達成できるよう、努めていきたい。	H29年度に改善した点	無	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	486千円	478千円	平和祈念式典参加事業	市の平和推進事業に理解いただけた人数の割合	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民一人ひとりに理解してもらうことが、当該事業の目的となっているため、当該事業に参加して意義を理解いただけた人数の割合を成果指標とする。						
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	平和を語る会	H28年度目標		H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	447千円	435千円	平和祈念資料展	100%	100%							
	一般	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	目標達成済						
	0.60人	0.00人	5名参加		100%	100%							
期間	S60年度～	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民一人ひとりに理解してもらうため、一般公募の市民と平和祈念式典に参加する「平和祈念式典参加事業」や、市内小中学校及び一般市民を対象とした被爆体験者による「平和を語る会」の実施、市役所市民ホール及び各地区のまちづくりセンターにおいて原爆のパネル写真を展示する、「平和祈念資料展」の開催を行う。	5,145千円	臨時職員	16回開催し参加者1,294人	H30年度目標	100%	100%	来場者数約3,500人	100%	評価者	企画総務課長 内野 孝雄	
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値は毎年概ね達成しているものの、平成29年度は目標値を下回ってしまったため。	H29年度に改善した点	無	有
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	200千円	200千円	参加者数	参加者数	在住外国籍市民、外国人観光客等、今後日本に滞在する外国人の増加が見込まれるため、市民と外国籍市民との共生意識の啓発が必要であり、来場者・出演者を含めより多くの方に本事業に携わってもらうことを重視しているため。						
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	外国籍市民の交流	H28年度目標		H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析					
	第5次所沢市総合計画後期基本計画	200千円	200千円	初めて参加した人数	550	610							
	事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	目標値未達成の理由として、若い世代の新規参加者を増やせなかったことが一因として挙げられる。平成28年度に子どものダンスのステージ発表があり、子育て世代の参加者が例年以上に多かったが、平成29年度は子ども向けの企画がなかったことで参加者数が伸びなかったと考えられる。今後については、国籍を問わず若い世代にも気軽に参加してもらう工夫を行い参加者を増やしていく必要がある。						
	0.39人	0.00人	550人		570	550							
期間	平成7年度～	外国人市民との共生意識の啓発を目的とする。市内に拠点を置く(国際交流ボランティア団体と個人ボランティアが主体となり実行委員会を組織し、年に一度実施している。フォーラムでは 所沢市の姉妹都市紹介日本人、外国籍市民がグループになって話す「交流会」 舞台での発表(和太鼓・歌・ダンス等) 常設コーナー(姉妹都市と所沢市の子ども達が描いた絵の展示等)を実施し、市民(外国籍市民を含む)間のコミュニケーションの機会を作るとともに、知人作りや国際理解の場を提供している。	3,344千円	臨時職員	140人	H30年度目標	570	570	59人	570	評価者	文化芸術振興課長 吉田 謙治	
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値はやや下回っているが、市民団体との協働により20年以上実施している本事業は、日本語学習を通して外国籍市民の生活支援をする場であるとともに、外国籍市民との相互理解や交流を深める場としても重要な役割を果たしており、国際理解に対して成果を上げている。	H29年度に改善した点	無	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	140千円	84千円	外国人のための日本語講習会	受講生の人数(人)	多くの外国籍市民に参加してもらいたいため、受講生の延べ人数を指標とする。						
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	受講生数	H28年度目標		H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析					
	社会教育法	140千円	86千円	実績	900	892							
	事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	34回	H29年度目標	H29実績	外国籍市民は増加傾向にあるが、社会情勢にも影響され流動的なため、日本語学習を必要としている人の定着率が少なく、年度により受講生数に増減がある。						
	0.25人	0.00人	715人		900	715							
期間	平成元年度～	市内在住外国人が生活する上で必要不可欠な日本語の学習の場を保障し、国際化に対応し、市民の国際交流・異文化理解を推進する事を目的とし、毎週月曜日に日本語講習会を市民のボランティアにより実施。また、授業の一環として年1回校外学習を実施。	2,144千円	臨時職員	900	H30年度目標	900	900	715人	900	評価者	社会教育課長 稲田 里織	
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値は上回っており、外国籍市民の増加も見込まれる中、本事業の更なる充実が期待されている。日本語講座は、日本語習得の場であるとともに、日本で生活していく上で必要な知識・情報を得る場でもあり、また、ボランティアにとっても、生涯学習・国際交流・異文化理解の場となっており、充実した日本語教室運営のため、今後も継続が必要である。	H29年度に改善した点	無	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	100千円	100千円	日本語講習会指導者研修会	指導者研修会の満足度(%)	充実した研修を目指すため、参加者アンケートから満足度を指標とした。						
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	研修会受講生	H28年度目標		H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析					
	社会教育法	100千円	100千円	実績	90.0	92.0							
	事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	6回	H29年度目標	H29実績	目標達成済						
	0.16人	0.00人	192人		95.0	98.0							
期間	平成4年度～	日本語講習会のボランティア(指導者)の確保と技術の向上を目的に、ボランティアを志す方へ向けた入門編と、ボランティアとして活動する方への実践編の研修を開催。	1,372千円	臨時職員	95.0	H30年度目標	95.0	95.0	192人	95.0	評価者	社会教育課長 稲田 里織	

第1章 コミュニティ 第5節 国際社会

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト		活動実績(H29)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年概ね達成している。特に役員の意識は高く、ボランティアとして様々な事業に関わっており、所沢市の姉妹都市交流に寄与しているといえる。	H29年度に改善した点 本市姉妹都市紹介を行うパネルボード(A0サイズ)が今までなかったが、同委員会の発案により交付金を充当して作成した。行政では予算編成・運用の都合上、迅速な対応が難しい中で、姉妹都市交流を促進するために効果的な予算の使い方を考えてもらった。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	無	有	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	1,400千円	1,195千円	友好委員会事業に参加した市民の数	友好委員会事業に参加した市民の数								
	根拠法令	所沢市国際友好委員会交付金交付要綱	H29予算現額	H29決算額(見込み)	姉妹都市との交流	姉妹都市との市民レベルでの交流を通じ、国際的な視野をもった市民を増やすために、より多くの市民に参加を促す必要があるため。								
	事業の目的及び具体的な内容	所沢市国際友好委員会交付金交付要綱	1,400千円	1,286千円	市民の意識を高める事業数	市民の意識を高める事業数	H28年度目標	H28実績						H29目標値が未達成の理由・分析
	国際友好委員会交付金	外国の姉妹都市との交流は、行政主導の交流から民間が主体となった交流へと移っている。この流れを促進し、市民の国際意識を高めるために、海外姉妹都市との交流を主体的に進める民間団体に対して助成をし、その活動を支援する。 姉妹都市(米国・ディケイター市、中国・常州市、韓国・安養市)への一般市民訪問団の派遣 姉妹都市から来訪する訪問団との交流 姉妹都市への文化・スポーツ団体等の訪問団に対する支援 外国籍市民との交流	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	90	153	H29目標値が未達成の理由・分析						
	期間	昭和55年度～	0.20人	0.00人	110人	H29年度目標	H29実績	H29目標値が未達成の理由・分析						
			1,715千円	0.07人	6回	100	110	目標達成済						
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	7回	H30年度目標									
		0.36人	0.00人		110									
		3,055千円	0.00人											
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値は毎年概ね達成しているものの、平成29年度は目標値を下回ってしまったため。	H29年度に改善した点 ボランティア登録制度については、埼玉県「多文化共生ボランティア登録システム」の加入については個人情報の取り扱いの都合上、然るべき手続きを重ねていく必要がある。関係部署と調整しながら、慎重に検討していく。姉妹都市からの行政視察団の受け入れについては、両市にとって有意義な交流となるよう連絡を密にとった。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	無	有	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	2,521千円	1,442千円	姉妹都市から行政視察団を受け入れた数	ボランティア登録者数	市民の共生意識が高まるにつれ、得意な分野でのボランティア登録が増えると考えため設定した。							
	根拠法令	所沢市自治基本条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績	16	17	H29目標値が未達成の理由・分析						
	事業の目的及び具体的な内容	国際交流を推進する様々な事業を実施する事により市民の共生意識を高める。 公的文書の翻訳・公的機関での通訳等に協力するボランティアを登録・活用する。 姉妹都市から行政視察団を受け入れ、テーマにあった視察等をアレンジする。また、姉妹都市へ行政視察団を派遣し、先進的な取り組みについて視察を行う。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	1回	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析						
	国際交流推進事業	国際交流を推進する様々な事業を実施する事により市民の共生意識を高める。 公的文書の翻訳・公的機関での通訳等に協力するボランティアを登録・活用する。 姉妹都市から行政視察団を受け入れ、テーマにあった視察等をアレンジする。また、姉妹都市へ行政視察団を派遣し、先進的な取り組みについて視察を行う。	0.92人	0.00人		H29年度目標	H29実績	埼玉県「多文化共生ボランティア登録システム」加入の検討を行っているところであり、本市ボランティア募集の見直しを行うため、積極的な募集には至らなかったため。						
	期間	-	7,889千円	0.00人		18	17	H29目標値が未達成の理由・分析						
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合		H30年度目標								
		0.67人	0.00人		17									
		5,685千円	0.00人											
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年概ね達成している。国際化が進む中で、将来を担う高校生が国際感覚を身につけることは重要である。 異文化に触れた経験から、多文化共生の意識を育む環境づくりにおいて、今後、市への協力を期待したい。	H29年度に改善した点 派遣員に対して、目的意識を持ってこの事業に参加するよう、事前の研修会等を通してよく伝えてきたことで各人が自覚をもって参加してくれた。また、派遣員の責にやらない理由により本事業を中止した場合でも、航空便のキャンセル料がかからないよう保険内容の見直しを行った。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	無	有	
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	1,022千円	778千円	所沢市からの派遣員の総数	派遣員の帰国後の国際交流事業への参加人数	派遣員に帰国後も、国際交流事業へ参加してもらうことによって、国際交流事業への関心や理解、協力関係を継続していく必要があるため。							
	根拠法令	所沢市海外都市学生交流実施要綱 所沢市海外都市学生交流補助金交付要綱	H29予算現額	H29決算額(見込み)	所沢市における受入家庭の総数	派遣員の帰国後の国際交流事業への参加人数								
	事業の目的及び具体的な内容	所沢市海外都市学生交流補助金交付要綱	982千円	964千円	実績	26	42	H29目標値が未達成の理由・分析						
	海外都市学生交流事業	姉妹都市に派遣員(高校生等)を派遣し、社会、文化等の交流を通して、外国人との相互理解を深めていくとともに、将来を担う青少年に広い視野から郷土、国家、国際社会を理解させることにより、次代を築く人材を育成していくことを目的としている。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	6人	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析						
	期間	平成3年度～	0.28人	0.00人	0世帯	H29年度目標	H29実績	H29目標値が未達成の理由・分析						
			2,401千円	0.00人		50	55	目標達成済						
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合		H30年度目標									
		0.52人	0.00人		63									
		4,412千円	0.02人											